継続は力なり

長久手市立北中学校
進路だより vol.01
令和５年４月１７日（月）

特集　自分だけの「正解」を探す旅の始まりです。

進級おめでとうございます。新しい学年・クラスで気分も新たにがんばろうと意気込んでいることと思います。この一年間は、北中学校の最上級生として全体を引っ張っていく立場ですが、一方で自分自身の将来について考えていく年でもあります。進路だよりでは、皆さんの進路選択に生かしてもらえるように、たくさんの情報を紹介していこうと思います。来年の３月にはそれぞれが希望した進路に進めるようにがんばっていきましょう！

さて、皆さんはＲＡＤＷＩＭＰＳの「正解」という曲を知っていますか。この「正解」という曲の中には次のような歌詞があります。

あぁ　答えがある問いばかり教わってきたよ　だけど明日からは
僕だけの正解をいざ　探しにゆくんだ　また逢う日まで
次の空欄に当てはまる言葉を　書き入れなさい　ここでの最後の問い
「君のいない　明日からの日々を　　僕は／私は　きっと□□□□□□□□□□□□□□□□」

皆さんなら、歌詞の□の中に何という言葉を入れますか？答えのない問いが登場したとき、「分からない」と、思考することさえ投げ出していませんか。この歌詞の□だって、環境やタイミングによって答えがいくつも出てくることでしょう。また、一人一人同じ答えにはならないと思います。今この時点での正解は、明日には不正解になっているかもしれません。そして明日の正解はきっと、明後日の正解にはなり得ないのです。まさに歌詞にある通り、未来は全く見えません。しかし、自分で考え、導き出したこと自体に価値があり、誰が何と言おうとそれがあなたの「答え」なのです。

〇保護者の皆様へ

保護者として、子どもの進路に関して意見を言うのは当然のことです。そして、保護者には保護者の意見や願いがあります。子どもの将来を思っているからこそ、「こうなってほしい」と願います。そういう意見や願いなどは、ぜひ子どもたちに伝えていただきたいと思います。

しかし、子どもには子どもの願いや意見もあります。お互いに意見が食い違い、衝突することもあることでしょう。そういう時には、「お互いの意見をしっかり相手に伝えた上で、一緒に考えていく」ことが必要になってきます。

最終的にはその人生を歩いて行くのは子どもたちです。「自分の進路は自分で決める」ということは、そういう進路の分かれ目で決断をしていく子どもたちを「大人の一人として認める」ということでもあります。子どもたちが大人になっていく大事なチャンスを一緒に応援していただければと思います。